

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅南口計画(仮称)	階数	地上19F
建設地	広島県広島市南区松原町2-2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,616 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,360 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 竣工	評価の実施日	2022年6月20日
敷地面積	4,204 m ²	作成者	武田 雅志
建築面積	3,361 m ²	確認日	2022年6月20日
延床面積	44,089 m ²	確認者	伊藤 信治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 78% ③上記+②以外の 78% ④上記+ 78%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 4.2</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 4.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 4.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 4.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.9</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 4.2</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.9		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 4.1</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>断熱性能の高い建材を採用している。/ 自然換気システムを採用している。// BEMSにてエネルギー評価が可能。運用管理体制を組織化、中央管理システムを用いた省エネルギーの計画。/ 節水器具、リサイクル材・再利用可能なユニット部材、材料使用量削減に寄与する材料・工法を積極的に採用している。/ ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)と同程度以下</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>生物環境の保全と創出に配慮した緑化計画を行っている。/ 付置義務台数を大幅に上回る駐車場の計画、自転車ステーションの計画を行っている。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.9</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>耐用年数の長い材料(外装・内装)を採用している。/ 仕上げを傷めることなく更新が可能であり、主要機器は屋外および、設備バルコニーに設置している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される